

材料バックキャストテクノロジーシンポジウム  
「基盤材料とバックキャストテクノロジー」

概要：バックキャストテクノロジー研究センターの最終年度のシンポジウムとして、基盤材料の観点から基調講演をして頂くとともに、センターの各部門からの発表を行います。

日時：平成 28 年 1 月 12 日(火) 13：00～19：00

場所：名古屋大学 野依記念館学術交流館 カンファレンスホール

参加費：無料

※交流会費用（会費：4000 円（学生 1000 円））は別途お納めいただきます。

申込方法：以下の URL より参加申し込みフォームに必要事項をご記入の上、お申込ください。

<http://mbt-center.numse.nagoya-u.ac.jp/mailform/>

申込締切：平成 28 年 1 月 6 日（火）（200 名 先着申込順）

次第：

13：00～13：10 開催挨拶 浅野 秀文（材料バックキャストテクノロジー研究センター、センター長）

13：10～13：15 ご挨拶 新美 智秀（名古屋大学大学院 工学研究科長）

基調講演：

13：15～14：15

「ものづくり日本 これからの歩み ー鉄鋼業の挑戦ー」

五十嵐 正晃 氏（新日鐵住金（株）・技術開発本部・先端技術研究所 所長）

休憩 14:15～14：30

各部門からの発表：

14：30～15：00

（エネルギー知略部門）

「波長制御可能な新規近赤外発光量子ドットの液相合成」

亀山 達矢（工学研究科 結晶材料工学専攻 助教）

「天然ガス自動車排ガス処理のためのメタン燃焼用 Pd-Co バイメタル触媒」

薩摩 篤（工学研究科 物質制御工学専攻 教授）

15：00～15：15

（物質知略部門）

「高圧力を利用した新材料・新物質の創製」

長谷川 正（工学研究科 結晶材料工学専攻 教授）

15 : 15～15 : 45

(プロセス知略部門)

「ソリューションプラズマの化学と物質合成」

齋藤 永宏 (未来社会創造機構 教授)

「液晶物質の光配向プロセスにおける新展開」

関 隆広 (工学研究科 物質制御工学専攻 教授)

15 : 45～16 : 15

(安全・知略部門)

「組織・構造・形態制御による材料開発と高機能化」

金武 直幸 (工学研究科 マテリアル理工学専攻 教授)

「セラミックスを基材にした生体組織修復材料の創製」

大槻 主税 (工学研究科 結晶材料工学専攻 教授)

16 : 15～16 : 45

(産学連携部門)

「部材軽量化・高度化をめざす塑性加工技術の開発」

湯川 伸樹 (材料バックキャストテクノロジー研究センター 准教授)

「メゾスケールの構造と形態を利用した材料開発」

小橋 眞 (工学研究科 マテリアル理工学専攻 教授)

16 : 45～16 : 55 閉会挨拶 村田 純教 (材料バックキャストテクノロジー研究センター 副センター長)

17 : 00～19 : 00 交 流 会 (ポスター発表)